

TABLET CONTAINER

Publication number: JP62224352 (A)

Publication date: 1987-10-02

Inventor(s): TOOMASU KEI KERII

Applicant(s): BAARETSUKUSU LAB INC

Classification:

- international: A61J7/02; A61J7/00; B65D83/04; A61J7/00; B65D83/04;
(IPC1-7): A61J7/00; B65D83/04

- European: B65D83/04C2

Application number: JP19860306138 19861219

Priority number(s): US19850810620 19851219

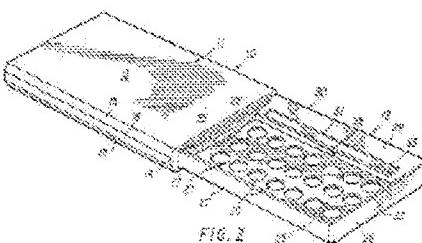
Also published as: JP6048998 (B) JP1916744 (C) EP0232674 (A2) EP0232674 (A3) EP0232674 (B1)

FIG. 2

Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

⑪ 公開特許公報 (A) 昭62-224352

⑫ Int.Cl.⁴
A 61 J 7/00
B 65 D 83/04

識別記号
7132-4C
C-7912-3E

⑬ 公開 昭和62年(1987)10月2日
審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 純剤容器

⑮ 特願 昭61-305138

⑯ 出願 昭61(1986)12月19日

優先権主張 ⑰ 1985年12月19日⑮米国(U.S.)⑯810620

⑰ 発明者 トマス、ケイ、ケリ アメリカ合衆国ニューヨーク州 10538、ラーチモント、
ー ドッグウッドレーン 8⑱ 出願人 バーレツクス、ラボラ アメリカ合衆国ニュージャージー州 07470、ウェイン、
トリーズ、インコーポ フェアフィールドロード 300
レイテッド

⑲ 代理人 弁理士 赤岡 迪夫

明細書

1. 発明の名称

純剤容器

2. 特許請求の範囲

(1) プリスタ包装中の配列に保持された純剤を小出しするための容器であって、底がなく、該容器の中殊をカバーするためのカバー部材と、

前記プリスタ包装を支持するため前記カバー部材内に収容されるトレイ部材にして、前記プリスタ包装がそれに対して載置されるデッキを備え、該デッキは前記プリスタ包装中に保持された純剤の配列に対応する貫通孔の配列を有する前記トレイ部材と、

前記トレイ部材を前記カバー部材内に保持するための手段にして、一方の部材上に他方の部材を案内するための軌道を含んでいる前記保持部材と、

前記トレイ部材が前記カバー部材から完全に脱離するのを防止するためのストップ手段と、

前記トレイ部材が前記カバー部材から完全に突出した時該トレイ部材の一部が該カバー部材内にとどまるように、該トレイ部材が該カバー部材から突出する限度を制限するための手段

とを備えていることを特徴とする純剤容器

(2) 前記デッキの貫通孔と並列したプリスタ包装中の純剤の使用に関する指示をディスプレーするため、デッキに隣接してトレイ上に配置された面を備えている第1項の純剤容器。

(3) 前記デッキは第1および第2の表面を有し、第1の表面はプリスタ包装と密着し、第2の表面は露出し、それによって純剤を第1の表面から孔を通して第2の表面の外へ押し出すようにプリスタ包装を押すことにより、純剤をプリスタ包装から小出しすることができる第2項の純剤容器。

(4) 前記カバー部材はトレイ部材がカバー部材内に収容された時デッキの第1の面をカバーするための頂部パネルを有し、該カバー部材はデッキ部材の第2の表面に隣接して開いており、該カバー部材はその間にトレイ部材を保持するための一対の

- 対向する側壁を有し、そしてトレイ部材を停止させるための後壁を有する第3項の錠剤容器。
- (5) ブリストラックを第1の表面との密着に保持するための、デッキの第1の表面に関して離れた関係に配置された複数の耳部材を備えている第4項の錠剤容器。
- (6) ブリストラックをデッキを貫通する孔の配列に関して正確に配向するための、デッキの第1の表面に接続して配置された一対の対向する案内壁を備えている第5項の錠剤容器。
- (7) 前記ストップ手段は、前記カバー部材の一対の対向する側壁中の一対の対向する縦方向に延びるみぞと、該対向するみぞ内に収容されるトレイ部材上の二対の彈力性突起とを含み、前記対向するみぞはカバーの解放端に接続するストップを有し、該ストップはトレイ部材が完全に閉位置にある時トレイ部材のカバー部材からの突出を制限するよう前記突起と係合する第4項の錠剤容器。
- (8) 前記トレイ部材は一般に平坦な側壁を有し、前記カバー部材の側壁は内壁へ突出する唇を有し、

該トレイ部材はカバー部材の対向する側壁内に収容され、そしてカバー部材の頂部と前記内側へ突出する唇とによって保持される第7項の錠剤容器。

- (9) 前記カバー部材の側壁はめいめい突出する平坦部分によってへだてられた一対の直面縦みぞによって形成された外表面を有する第8項の錠剤容器。
- (10) 前記ブリストラック中の錠剤の配列と、前記デッキ中の孔の配列とは、7縦列と4横列とに配置され、各縦列は週の各曜日に對応し、各ブリストラックの錠剤の使用のため28日サイクルを提供する第9項の錠剤容器。
- (11) 前記ブリストラック中の錠剤の配列と、前記デッキ中の孔の配列とは、7縦列と3横列とに配置され、各縦列は週の各曜日に對応し、各ブリストラックの錠剤の使用のため21日サイクルを提供する第9項の錠剤容器。

3. 発明の詳細な説明

本発明の背景

1. 本発明の分野

本発明は錠剤容器に関し、さらに詳しくは本發

明はブリストラックに並べた錠剤を保持し、隠すための、そして産児制限のような目的に使用する容器に関する。

2. 技術的考察および先行技術

産児制限用錠剤の利用は、一般に錠剤を毎日あらかじめ選択された順序で1回に1錠服用することを必要とする。該錠剤は21日サイクルか、または28日サイクル療法のどちらかに従って小出しされる。各自がめいめいのものである7縦列に、または21日または28日サイクルを形成するよう3横列または4横列に配列したブリストラックの利用が満足なアプローチを提供することが判明した。

ブリストラックは産児制限ユーザーによって携帯されることがあるので、ブリストラック中の錠剤はサイクルの間に発生し得る損傷を防止することが必要である。この必要性はブリストラックを保持するための多数の構造をもたらした。産児制限ブリストラックを保持するための先行技術容器の多数は、それらが掛金および蝶番を有する点において製作

するのに比較的複雑であり、そして高価である。さらにそれらは時々結ぶ。これらの器具は、米国特許第4,165,709号に開示されたダイヤル式容器によって例示される。これらダイヤル式小出し容器の作動はすべてのユーザーに対し必ずしも明瞭でなく、時々これら的小出し容器の複雑性のために錠剤の小出しに織りを生ずる。椭円形または円形配列を使用する錠剤容器の他のタイプは、米国特許第3,283,885号および第4,165,709号の容器によって例示される。

多分米国特許第3,677,397号および第3,504,788号によって例示されるように、可撓性のカバーを持った産児制限用のいくつかの錠剤容器がある。これらの特定の構造は、カバーへ加えられた圧力が錠剤を損傷するか、またはそれらが配置されるトレイを通して錠剤が誤って小出しされる点において、錠剤を適切に保護しない。これを避けるため、多数の市販容器はドーム型カバーを有する。

米国特許第3,527,199号、第3,584,593号、第

3,579,883号、第3,630,171号は蝶番カバーを用いる錠剤容器の代表例である。蝶番カバーを用いる容器は、それらは蝶番と掛金の両方を要するため比較的高価である。これらの部品は注意深く成形されなければならず、そして摩耗と破損を蒙る。さらにこれら容器が錠剤を小出しするためのコンパートメントを有する時、小出しされた錠剤はコンパートメント内に詰まり易い。従って蝶番カバーを用いる容器はいくつかの欠点を有する。

スリーブ内に配列された錠剤収容トレイを開示する多数の特許があるが、しかしながらこれらの構造は先行技術の産児制限容器の欠点を改善するよう産児制限錠剤の小出しに特に適していない。例えば、米国特許第3,033,355号および第3,397,770号は部分的カバーを開示するが、しかしながらそれらはどのようにして指示片を付着するか、またはプリスタ包装を支持するかを開示していない。またそれらは、カバーとトレイとの間の信頼し得る連結、またはトレイがカバーに関して捲むことを防止するための構造を開示していない。米

国特許第1,986,134号は、ストップを有するスリーブ中をスライドし得るトレイを開示するが、トレイをその中に収容するカバーに関して適切に支持する容易に製作される構造としたストップの開示がない。トレイがその中に収容されるスリーブまたはカバーとの複雑なそして広い表面を持ったトレイは、まわりくねった表面に破片がたまり易いので、しばしば詰まり易い。

上記考査に鑑み、プリスタ包装した産児制限錠剤のような錠剤のための、そして以上論じた特許の欠点のような欠点を持たない容器に対して需要が存在する。さらに、容器が化粧品のような外観を有するそのような容器に需要が存在する。

本発明の概要

本発明の目的は、あらかじめ選定されたサイクルの間小出しされなければならない、産児制限錠剤のような錠剤の供給を貯蔵しそして小出しするための新規な改良された容器を提供することである。

本明細書をさらに検討する時、本発明のそれ以

上の目的および利益が当業者には明らかになるであろう。

前記目的および利益に鑑み、本発明は、あらかじめ定められたパターンに配列された錠剤の列をその上に有するプリスタ包装を保持するための錠剤容器を意図し、該プリスタ包装はカバー部材内にスライド自在に収容されたトレイ部材上に載置される。該トレイ部材は、プリスタ包装中の錠剤の列のパターンに相当するパターンの貫通孔列を有するデッキを有する。該トレイのデッキ部分の長さは、錠剤のすべてが露出された時カバー中に残るトレイの一部を提供するように、カバーの長さより少し短く、それによってトレイは完全に引出された時安定化され、そして捲まない。トレイをすべての錠剤を露出させて保持するための係止手段が設けられ、そのためカバーはトレイから外れない。

本発明の好ましい具体例によれば、本発明は、21日もしくは28日サイクルに従って産児制限錠剤を貯蔵し、そして小出しするために使用され

る。そのためデッキ中の孔は、21日サイクルのためめいめい3横列の7縦列に、または28日サイクルのためめいめい4横列の7縦列に配列される。該デッキに接続して、各縦列が週の各曜日を表す各縦列と整列した指標のディスプレーのための傾斜面がある。

本発明の一具体例によれば、カバーは底を持たない。従ってカバーのコストが最小化され、容器は開けるのが容易であり、そしてプリスタ包装は見ることができる。

図面の簡単な説明

本発明の種々の他の目的、特徴および利益は、添付図面に関して考査する時完全に認識され、そしてより良く理解されるであろう。

第1図は、閉鎖した容器を示している、本発明に従った錠剤容器の斜視図である。

第2図は、開いた状態にある錠剤容器を示している、本発明の錠剤容器の斜視図である。

第3図は、トレイ部材の端部がどのようにしてカバー部材内に係止されるかを示している。錠剤

容器の一部断面平面図である。

第4図は、第3図の線4-4に沿った断面図である。

第5図は、容器を閉じた時の容器を示している。容器の端部断面図である。

第6図は、容器を一部開いた時の錠剤容器の斜視底面図である。

第7図は、21個の産児制限錠剤をどのようにして錠剤容器のトレイ中に載置するか、および曜日ストリップをどのようにしてプリスク包装に隣接して取り付けるかを示している、錠剤容器の斜視図である。

第8図は、錠剤をどのようにしてトレイから小出しするかを示している、その上にプリスク包装を載置したトレイの一部分の断面図である。

第9図は、28日産児制限サイクルのための孔を配置したトレイを示している、本発明の他の具体例の平面図である。

第10図は、第9図の具体例に使用する錠剤よりも大きい錠剤寸法に適合するように孔が比較的大

きい、28日サイクルのために配置された孔を示している本発明のなお他の具体例の平面図である。

好ましい具体例の説明

第1図を参照すると、一般に番号10で指定した錠剤容器が図示されており、該容器は、一般に番号11で指定されたカバー部材と、一般に番号12で指定されたトレイ部材とを含んでいる。トレイ部材12は、錠剤容器10が閉じられた時カバー部材11内に完全に嵌合する。カバー部材11は形状が長四角であり、頂部分13と一対の側壁14を含んでいる。各側壁14はその中に一対の凹み15を有し、該みぞは平坦表面16へ収れんする。凹み15と平坦面16とは、錠剤容器10へ、産児制限錠剤のような錠剤ではなく、例えば化粧品をその中へ入れるコンパクトな外観を与える。側壁14から内側へ一対の対向する唇17が伸び、トレイ部材12の底に係合し、そしてトレイ部材をカバー部材11内にスライド自在に保持するための軌道を形成するようにカバ

ー部材の頂部分と協力する。

次に錠剤ケースが開いた状態で示されている第2図を主として参考すると、トレイ12は、カバー11内から、一般に番号21で指定したデッキ内に形成された穴20の完全な列をディスプレーシ、そしてアクセス可能とする開位置までスライド自在であることが見られる。該デッキ21は上表面22と下表面23とを有し、孔20は上表面から下表面までデッキ21を貫通している。孔20の配列は、21日サイクルのため7個の孔の縦列と、3個の孔の横列に形成される。デッキ21はその3側において、端壁26、側壁27および後壁28を含む壁によって囲まれている。4番目の側には、側壁30からデッキ21へ向かって傾斜する斜面29が配置される。斜面29は長四角形の細長いくぼみ31を有し、該くぼみは孔20の配列中の列と整列した曜日ストリップ（第7図の指標ストリップ32を見よ）を収容する。端壁26および28と、斜面29から垂れ下がっている壁33は、プリスク包装37を保持するため（

第7図および第8図を見よ）デッキの頂面22から離れた耳35をその上有する。

次に第3図を参考すると、容器10のトレイ部材12は一対の彈性突起40によってカバー部材11内に保持され、該突起40はトレイ部材12の側方に突出し、そしてトレイ部材12が完全に開位置へ引張られた時一対の対向するスロット41内に収容されることが見られる。該突起40はスロット41の端部に配置されたストップ42と係合し、そのためトレイ部材12がカバー部材11から完全に外へスライドすることを防止する。トレイ部材12はデッキ21に隣接して後壁28から後方へ突出する開いた棒43を有する。棒43はトレイ部材12へ剛直に取り付けられ、そしてトレイ部材12が完全に突出した時カバー部材11内にとどまる。そのためトレイ部材12は突出した時カバー部材11に関して安全であり、そしてカバー部材の頂壁13および側壁14の内表面によって区画されたカバー部材中の空間と整列し続ける。棒43は、カバー部材11の頂部13

の下面46と、カバー部材の側壁14から内側へ突出する対向する唇17の内表面47との間に延びる後方フランジ44を有する。デッキ21に隣接する後壁28も頂壁13の下面46から唇17の頂表面47まで突出するので、全体のトレイ部材12がカバー部材11に關して支持される。

第6図に見られるように、カバー部材11は頂部13を有するが、底は開いている。従って単に錠剤ケースの底を見ることにより、プリスタ包装37が錠剤ケース内に装填されているかどうかを一見して知ることができる。

次に第7図および第8図を参照すると、第2、3、6および7図に示した具体例のプリスタ包装37は、21日産児制限サイクルに使用するためその中に包装した錠剤を有する。斜面29中の細長いくぼみ31中に錠剤と整列した指示ストリップ32があり、該ストリップはその上に順番にプリントされた曜日を有する。各容器には多数の指示ストリップ32が用意され、めいめい異なる曜日から出発し、そしてその曜日から順番に曜日が

続いている。ストリップ32は好ましくはくぼみ31内に容易に固定し得るように接着剤裏張りを有する。第8図に見られるように、サイクルの各日のため、錠剤50は指で矢印51の方向に押すことにより、錠剤容器10から小出しされる。これはプリスタ包装37の下側底層52を破り、錠剤50が整列した孔20を通ってユーザーの手へ落ちることを許容する。ユーザーは、單にもし特定の日のための配列中に錠剤がなければ、錠剤50は既に服用されたと考えることができるので、特定の日のための錠剤が小出しされたことを知る。勿論もし特定の日のための配列中に錠剤があれば、ユーザーは錠剤を飲むべきことを知る。

第3、9および10図に見られるように、デッキ21の形状が台形になるように角度をつけた壁55が耳35の下にそして壁26および28に隣接して配置される。プリスタ包装37も角度つき壁55によって形成された形状に合致させるため形状が台形である。従ってプリスタ包装37はケースに関してトレイ12内に適正に配位されるこ

とができる。

第2、3、6および7図に示した孔20の配列は任意の曜日から出発できる21日サイクルのためのものであり、ユーザーは彼女の出発日を選択し、特定の出発日を持ったラベルを選択し、それを所定位置に配置する。このサイクルに使用される錠剤50は典型的には二つのコンスタントな成分を含有し、そして比較的大型で、比較的大きい孔20を要する。完全なサイクルは実際には21日の服用日と、7日の休止日とを持った21日間続く。

次に第9図を参照すると、7縦列（1列が週の各曜日のため）と、4横列とがある28日サイクルのための配列に孔20¹が配置された本発明の一具体例が図示されている。この具体例では、各曜日のための錠剤50は異なる量の活性成分と、単一レベルのアラセボとを含有する。第9図の構成は任意曜日スタートのためのものであり、第2、3、6および7図に類似の配列が各配列が異なる曜日からスタートする7種類の異なる複数のラベ

ルがつけられる。

次に第10図を参照すると、トレイ12²にはやはり28個の孔20²がある。しかしながら指示ストリップ32を収容するための斜面29または細長いくぼみ31はない。これは、容器10²が、プリスタ包装がその上に直接印刷されたサイクルの曜日を有する日曜日スタートだけに設計されたプリスタ包装（図示せず）を保持するようになっているからである。この構造では、活性成分を持った21錠の錠剤50と、7錠のアラセボ含有錠剤とがある。

錠剤ケース10の以上の具体例は、21日もしくは28日産児制限サイクルに必要なすべての錠剤を収容する錠剤ケースを開示する。この錠剤ケース10は外観が押し付けがましくなくそして魅力的であり、産児制限錠剤のためのケースよりもむしろコンパクトに似ている。小出し孔20の配列と曜日指標との組合せは、21日または28日処方サイクルに正確に従うための便利なそして信頼できる構造を提供する。

以上の説明から、当業者は本発明の本質的特徴を確かめることができ。そしてその精神および範囲から逸脱することなく、種々の用途および条件にそれを適応させるため種々の改変および修飾を加えることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、閉鎖状態にある本発明の錠剤容器の斜視図、第2図は全開状態にある該容器の斜視図、第3図は平面図、第4図は第3図の線4-4に沿った断面図、第5図は横断面図、第6図は底面の斜視図、第7図は容器とそれに収容される錠剤のブリストラック包装の斜視図、第8図はブリストラック包装を収容したトレイの断面図、第9図は別の具体例による錠剤容器の平面図、第10図はさらに別の具体例による錠剤容器の平面図である。

1-0は錠剤容器、1-1はカバー部材、1-2はトレイ部材、2-0は孔、2-1はデッキ、4-0は突起、4-1とスロット、3-7はプリスタ包装、5-0は錠剤である。

